

磐田市における発達支援の 取り組みについて

平成26年6月17日

こども部子育て支援課発達支援室



目次

1 磐田市発達支援の現状

- (1) 磐田市発達支援関係課
- (2) 支援を必要とする児の現状

2 発達支援の体制づくり

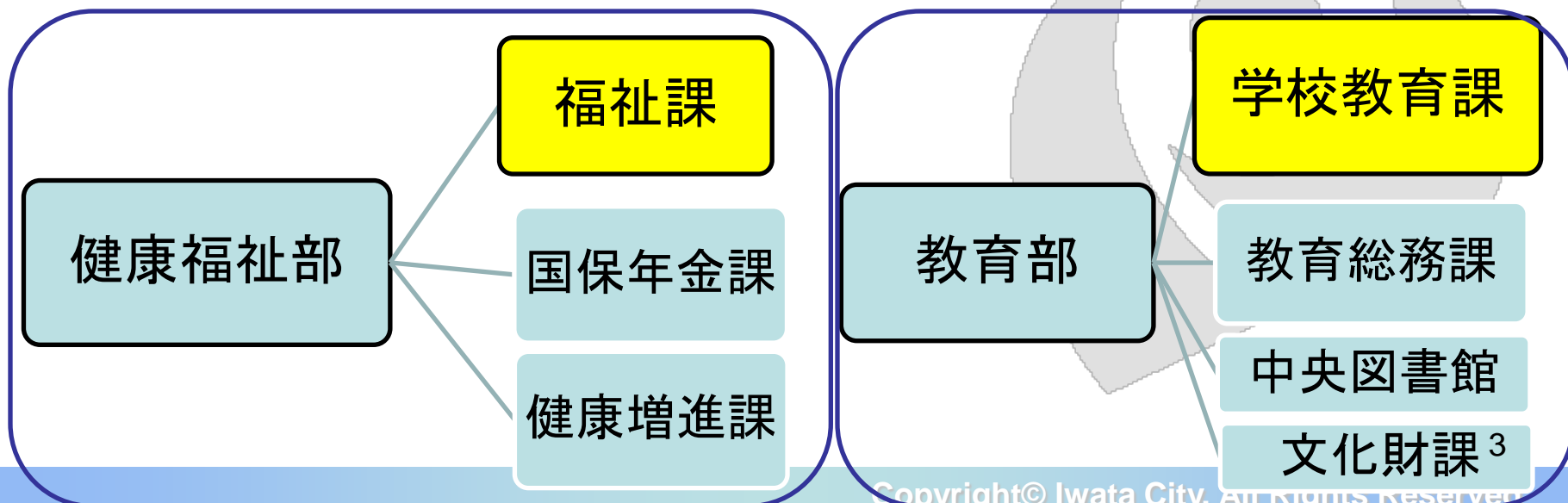
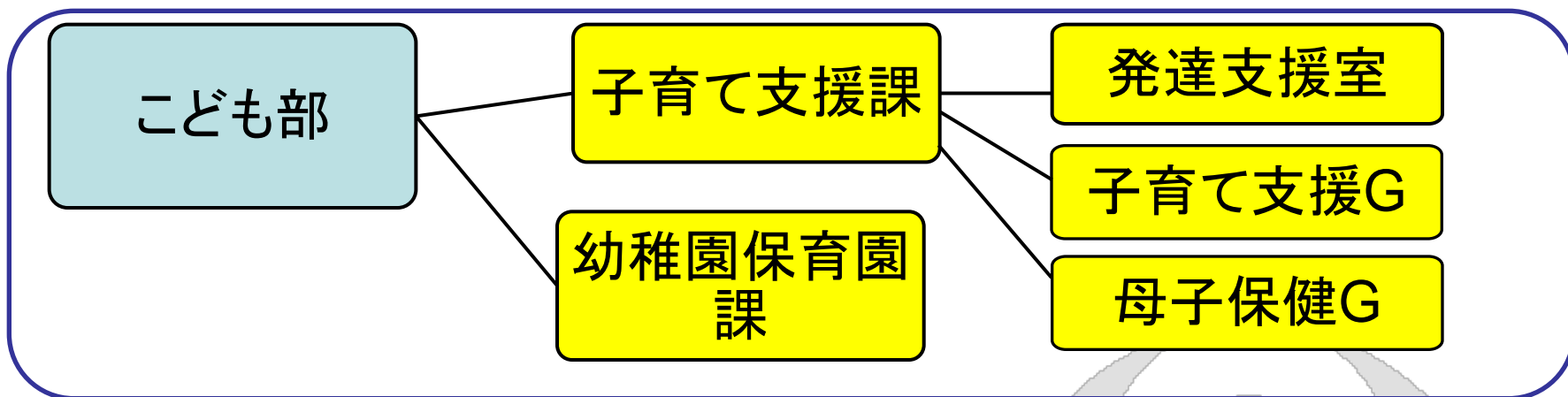
3 具体的施策

- (1) 途切れない支援体制の整備
- (2) 職員の知識や支援手法の資質向上
- (3) 就園、就学及び園・学校への支援
- (4) 保護者支援及び啓発



1 磐田市発達支援の現状

(1) 磐田市発達支援関係課



磐田市関係組織の概要

【磐田市子育て支援課発達支援室】

発達障がい児等の乳幼児からの一貫した支援体制を整える。
障害児通所支援事業、職員等の研修実施、講演会開催
親支援講座実施
磐田市発達支援センター「はあと」の主管課

【磐田市発達支援センターはあと】

通園事業、相談事業、連携支援業務を行う。
磐田市が聖隷福祉事業団に委託

【子育て支援課】

子育て支援グループ: 虐待予防、子育て支援サービス
母子保健グループ: 母子保健事業

【幼稚園保育園課】

幼保運営グループ: 入園児及び職員の支援を行う。

【福祉課】

障害福祉グループ: 障害者総合支援法に基づいた
福祉サービス

【学校教育課】

教育支援グループ: 特別支援教育の推進

(2) 発達支援を要する児の現状

- 幼児健診での要フォロー児
H24年度 1.6歳児健診30%、3歳児健診20%
H25年度 1.6歳児健診30%、3歳児健診18.5%
- 就学支援委員会審議件数
H24年度 439件
H25年度 565件
- 磐田市発達支援センター相談件数
H24年度 1,518件
H25年度 2,333件
- 児童発達支援給付件数
H24年度 606件
H25年度 1,123件



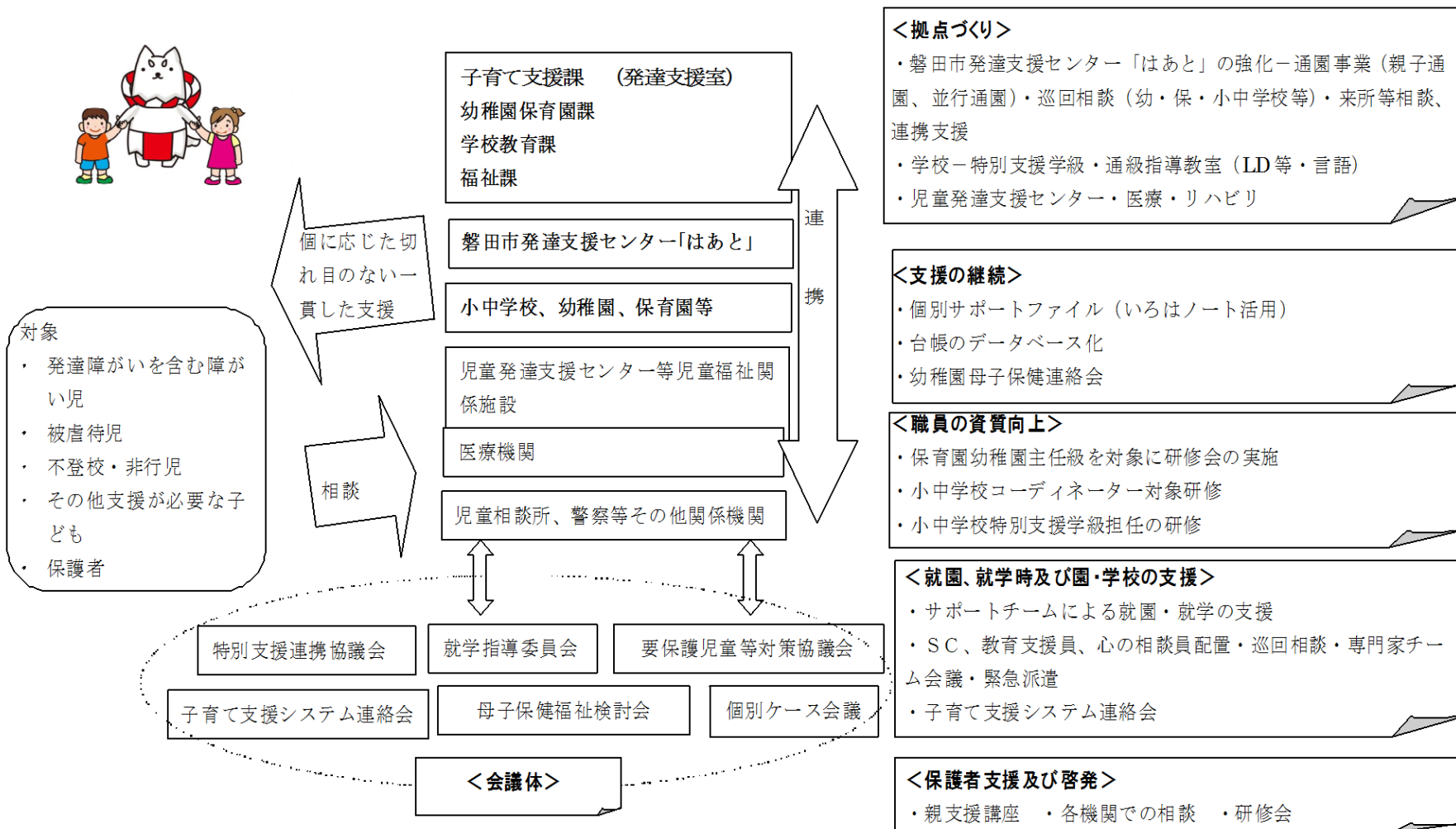
2 発達支援の体制づくり

磐田市あったかトータルサポート

乳幼児から切れ目なく総合的に必要な支援を受けられるようにするため、市が個々の支援に必要な情報を一元化し、教育、保健、福祉等の関係機関と連携して支援体制づくりを行うことで、個に応じた支援を継続的に行うためのシステムづくりを行う。

磐田市あったかトータルサポート

個々の子どもがもつ現状や課題が複雑化してきていることから、乳幼児から組織的で一貫した支援体制の強化を図るため、市関係各課や関係機関との連携を密にしながら、早期に適切な対応を取ることができるようにします。



3 具体的施策

(1) 途切れない支援体制の整備

● 発達支援室の設置

- ・乳幼児期から支援や情報をつなぐ発達支援体制づくり
- ・児童発達支援等の施設整備を含めた支援の検討

● 磐田市発達支援センター「はあと」の機能強化

- ・通園事業 1歳6か月児健診後からの早期療育支援
クラス数：就園2年前-1、就園1年前-1、並行通園-4
- ・相談事業 精神保健福祉士、臨床心理士、言語聴覚士等の
専門相談の充実
- ・連携支援 各関係機関との連携

● 一貫した情報・支援の継続

- 「あったかトータルサポートワーキング」での連携構築
発達支援室、幼稚園保育園課、学校教育課、福祉課、
磐田市発達支援センター「はあと」
- 個別サポートファイルの活用
就園・就学児用の個別サポートファイル
支援者と保護者で作成
- 発達支援児台帳の作成
支援を必要とする児の情報をデータ化し、市関係課で共有



(2) 職員の知識や支援手法の資質向上 磐田市

- 発達支援ほっと研修
 - 幼稚園保育園における支援の中核となる職員を養成する研修を実施。1年
- 小中学校コーディネーター対象研修及び小中学校特別支援学級担任研修
- 幼稚園保育園小中学校への巡回相談

(3) 就園就学及び園・学校への支援

- 就園就学時支援の充実

課を横断したチームでの就園就学時支援

- 子育て支援システム連絡会の開催

困難事例検討会

医師、県職員、特別支援学校教員、福祉関係者等

- 専門家チーム会議、緊急派遣

(4) 保護者支援及び啓発

- **ペアレントトレーニング**
発達に課題のある幼児のペアレントトレーニングを開催
親支援講座(Nobody's Perfect)の開催
- **スクールカウンセラー等の配置**
- **講演会開催**
市民及び関係者を対象とした講演会開催
- **各種関係機関・団体への研修会**